

視聴覚教育

No. 91

発行日

昭和五十七年三月五日

岡崎市AVL

編集 広報委員会

昭和五十七年度

岡崎市「視聴覚教育賞」決まる

昭和五十五年度に、愛知県芸術文化奨励文化賞を視聴覚部が受賞し、その賞金の一部で、開始した「視聴覚教育賞」に、本年度、次の団体・グループが受賞を決めた。晴れの授賞式は、三月五日(土)午後二時半から垂美丘会館で行われる予定である。

- 。自作ハミリ映画「石匠」製作グループ
- (全国自作視聴覚教材コンクール優秀賞)
- 近藤 卓(矢北小) 後藤聖人(根石小)
- 長坂信一(岩津中)
- 。自作ハミリ映画「塗師」製作グループ
- (県自作視聴覚教材コンクール優秀賞)

近藤 卓(矢北小) 後藤聖人(根石小)
今井洋昭(矢南小)
岡崎市立細川小学校

(県自作視聴覚教材コンクール優秀賞)
自作「テオ」ハウスでのなすづくり



優秀賞に輝く 『塗師』 ハウスでのなすづくり

去る三月十五日以県教育センターで行われた昭和五十七年度、

愛知県自作視聴覚教材コンクール発表会において、次の七作品が入賞し表彰された。今後、学習で大いに活用願いたい。

- 優秀賞 「塗師」(ハミリ映画) 岡崎市視聴覚ライブラリー
- 優秀賞 「ハウスでのなすづくり」(ビデオ) 細川小学校
- 優良賞 「ごみのゆくえ」(ビデオ) ライブラリー・社会科部
- 優良賞 「地域を見る」(ビデオ) ライブラリー・社会科部
- 佳作 「いねかり」(ビデオ) ライブラリー・社会科部
- 佳作 「学校の近くのように」(ビデオ) ライブラリー・社会科部
- 佳作 「ひろはた体操」(ビデオ) 玄幡小学校

(岡崎の)

視聴覚教育非この一年非

本年度は「視聴覚教材・機材を生かした授業のあり方を求めて」をテーマに、アナライザーの授業法、視覚能力の向上、自作教材の活用などを重点として、各校の先生方が着実に実践を積み重ねてこられた。

まず、機材面の充実。しし・アナライザー・放送自動化装置の導入、第二次にあたり、設置された学校は、有効な活用が開始された。

次に教材面では、今年度も自作ハミリ映画やビデオ・ＴＰ作品が多く製作され、全国や県でもその質の高さが認められた。これは、夏季実技講習会を軸とした岡崎の先生方の実力が向上した結果であり、まことに喜ばしい。

こんな中で、九月に持たれた大樹寺小学校の研究会は、社会・理科における視聴覚教材の活用について新しい方向を示唆した。

各種全国大会にも多くの先生が参加された。それら情報を大いに参考にして、岡崎の教育がなお一層充実するよう、各校のＡＶ主任を核として学習活動を大切にしていきたい。視聴覚教育は、かまえている間は本物ではない。教材研究や学習過程を組み立て

る中に自然に生まれてくるものではないだろうか。その求道の道を大切にする教師でありたい。(A・K記)

ライブラリだより

◇今年度の配達サービース

配達最終日 三月十五日 (火)

回収最終日 三月二十二日 (火)

◇58年度配達サービース

配達開始日 四月十二日 (火)

◇中学校修学旅行映画の巡回

事前指運用のフィルムです。

四月二十六日(火)より開始します。

目報『視聴覚教育』の発行を省みて

今年度は、アンケート調査より、紙質の改善に努力した。その結果が、少しは利り上がりが見えられた。また、今日の教材コーナーも新設し、十六ミリ教材の広報に努めた。また、多くの先生方の実践が掲載できたことは、ありがたいことであった。今後、一層、努力し、読まれる紙面にしたいと思う。

この一年間、広報委員の先生方、ご苦労さまでした。来年度も一層の協力をお願いしたい。

(広報委員会編集部)

